

令和 元年度「校庭芝生化地域連携事業」実績報告書

区市町村名 多摩

学校名 多摩市立 南鶴牧小学校

1 事業目的 協議会名 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会

校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を通して、地域の教育力向上を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

1 本事業の資金的な援助を活用することで、本協議会の活動である南鶴牧小グリーンネットワーク定例会、芝生維持管理作業、芝生維持管理講習会、地域の芝生祭り(エコスポ祭り)を実施することができ、これまで11年間積み重ねてきた芝生校庭維持管理やエコスポ祭りを継続することができた。地域・保護者と連携した芝生維持管理作業が、本地域における1つの地域の共生・共助社会を形成することにつながり、東京オリンピックのレガシーとなるようにしていきたい。本年度も子どもが体を動かす喜びが味わえるすばらしい全面芝生校庭を整備することができた。

2 本年度は校庭芝生化10周年記念としてエコスポ祭りを開催し、約700名の子ども、地域、保護者の方が参加した。エコロジーとスポーツをテーマとしたこの地域芝生祭りを通して、本校の子ども・保護者だけでなく、大勢の近隣の子ども・保護者の方に、芝生校庭の良さを感じてもらおうとともに、地域の宝として愛着をもってもらうことができた。

3 取組内容

1 芝生維持管理作業

4月～11月の毎週土曜日9:00～10:00を基本として実施している。作業内容は、芝生の上の清掃、芝刈りを中心としながら、施肥、雑草抜き、補植、砂入れ、散水、用具の準備・片付・整備、圃場整備、側溝清掃、芝生脇のサクラの剪定など多岐にわたっている。作業のリーダーは本協議会の主要メンバーである地域の野球クラブ・サッカークラブ、おやじの会が1週間ごとに交代して行い、父母と教職員の会の芝生担当世話人と各学級のボランティアが交代で作業を行っている。各学級の分担は年間3回、各回1時間。リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。手押し芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。10月までに17回、のべ大人750名、子ども800名が参加した。



2 校庭芝生化10周年記念第11回エコスポ祭り

実施日: 令和元年9月28日土曜日、13時15分～15時00分

対象: 本校児童・保護者、地域の方、スポーツ団体所属の児童・保護者

参加人数: 約700名

本協議会が主催する地域の芝生祭り。資源回収(エコ)と運動(スポ)を基調とし、スポーツは芝生の上で裸足になって運動する。本協議会を構成する団体が17ブースを開いていて、幼児から大人まで各ブースを回りながら楽しむお祭りである。



4 今後について

1 東京オリンピックのレガシーとしての地域の共生・共助社会に資するコミュニティーの1つとして、本協議会が持続可能な発展をしていくことができるように、また、地域の宝としての芝生校庭となるように保護者・地域に全面芝生校庭や芝生維持管理作業のよさについて、本協議会のブログや、学校だより、学校ホームページで広報する。

2 芝生応援キャラクター「しばちゅん」を活用しながら、全面芝生校庭や本協議会・学校の活動を地域の宝、かけがえのない物として感じてもらえるようにしていく。

3 12年経った乗用型芝刈り機更新のための資金作りに至急取り組む。